

THE Y'S MEN'S CLUB OF NASU NETWORK NASU CHARTERED 1995



那須ワイズメンズクラブ

2015~2016年度 No.195

4月 月報

那須クラブ会長 主題
拓こう 築こう ワイズの世界



強調月間：LT (リーダートレーニング)



3月例会 3月25日

2015~2016年度 主題
 国際会長：(IP) Wichian Boonmapajorn (タイ)
 「信念のあるミッション」
 アジア地域会長：(AP) Edward K.W. Ong(シンガポール)
 「愛をもって奉仕をしよう」
 東日本区理事：(RD) 渡辺 隆 (甲府)
 「原点に立って、未来へステップ」
 北東部長：中川 典幸 (仙台)
 「今と原点を融合して未来へ」-楽しく改革・笑って行動-

クラブ役員 事務局
 会長：田村 修也
 副会長：村田 榮
 河野 順子
 書記：荒井 浩元
 会計：鈴木 保江
 担当主事：荒井 浩元
 ブリテン：田村・村田

3月例会データ (出席率：66.6%)
 在籍者 6名
 例会出席者 4名 メネット 2名
 マゴネット 1名
 ゲスト：6名

今月の聖句
 彼らは互いに呼び交わし、唱えた。
 「聖なる、聖なる、聖なる万軍の主。主の栄光は、地をすべて覆う。」

イザヤ6：3

東京目黒クラブ 那須クラブ
 4月 Happy Birthday
 4/25 福島多恵子メネット なし

巻 頭 言

鈴木 保江

久しぶり、ナースの独り言

昨年は、研修三昧で多くのことを学ぶ機会がありました。その中で一番印象に残ったことをつぶやいてみたいと思います。

「価値観の違い？」 私が思うこと、伝えたいことは価値観の違いによって「伝え側」と「受け手側」の受け取り方が違うということです。

私は、もともと思うことを言葉にするのが苦手でした。思ったことをその場で思いつきで言うことが多く、後になって後悔することがありました。後でじっくり考える大人気なかつたなあ、嫌な思いをさせてしまったなあとか反省していました。昨年研修を受けたことで改めて、人はそれぞれの考えのもとに行動していますが私が思っていることは良いとは限りません。それらを振り返る機会となりました。研修の最初のころに「人は価値観が違う、その価値観は遺伝する。」と言われ衝撃を受けました。我が子へ遺伝するかあ。最近、二人の子供の話し方ややることに似てきていることに気づいてしまいました。だから、親子なんだなあ。遺伝の願いはただ一つ、ボランティア精神だけは受け継がれてほしいと思う。上の子はもうすぐ思春期です。仙台の部会に行った、あの2歳の男の子も6年生です。下は、まだ甘えん坊の2年生です。これから、私に似てかわいく、カッコイイイケメンになる二人の成長を楽しみにしています。子育てが一段落つくまで忙しなくなかなか皆様にお会いできません。もうしばらく子育てに手がかかりそうです。皆さんにお会いできるまでもう少し頑張っていこうと思います。皆様も頑張ってください。

3月例会報告（ユースリーダー報告）

日時：3月25日（金）午後6時～午後8時

場所：日本基督教団西那須野教会

参加者：田村会長、村田副会長、河野副会長、荒井の各メン、メネット：田村、原田、マゴメット：河野、ゲスト：菊地、酒井舞（シェル）、スピーカー：須江卓矢（すっちー）、笠間脩平（しゅうまい）、吉田朱里（じゅりあん）、阿久津知志（つくつく）合計：13名

3月例会では、今年度に全国のユースプログラムに参加した那須YMCAのユースボランティアリーダーが報告を聞くリーダー活動報告例会とな

りました。今回の例会で報告をしたリーダーと参加したプログラムを紹介いたします。

■第28回ユースボランティア・リーダーズフォーラム（2015年9月11日～13日）

・須江 卓矢（すっちー/国際医療福祉大学2年生・薬学）

・笠間 脩平（しゅうまい/国際医療福祉大学3年生・医療福祉マネジメント学）

■第3回北東部ユースリーダーズアクト（2015年11月21日～22日）

・吉田 朱里（じゅりあん/国際医療福祉大学2年生・作業療法学）

■フィリピン台風被災地支援ワークキャンプ（2016年2月24日～3月1日）

・吉田 朱里（じゅりあん/国際医療福祉大学2年生・作業療法学）

■第43回全国学生YMCA夏期ゼミナール（2015年9月11日～14日）

・阿久津 知志（つくつく/国際医療福祉大学4年生・医療福祉マネジメント学）

まず、ユースボランティアリーダーズフォーラムでは、「リーダーに求められること」をテーマに、様々なグループアクティビティを通して学んでいきました。現在、那須YMCAで活動しているなかで、いかにリーダーとしてレベルアップができるかを考えて学びを深めていきました。また、アクティビティを通して他のYMCAのリーダーたちとの交流があり、YMCAの広さを感じながら、キャンプ体験を楽しむことができました。

次に、北東部ユースリーダーズアクトでは、東日本大震災で被災した子どもたちが集まるサッカーチームを招待して行うサッカー大会にボランティアリーダーとして子どもと関わり、震災を振りかえりながら、今後どう震災と向き合い、日常生活やYMCAボランティア活動につなげていくかを学んでいきました。また、震災当日の話を聞いたり、子どもたちが真剣にサッカーをしているを応援するなど、YMCAの通常活動では体験できないことを体験することができました。

そして、フィリピン台風被災地ワークキャンプでは、フィリピンのユースとも交流をしながら、前回のワーク（ステージ修復）を引継ぎ、作業の大変さ、台風の悲惨さ、コミュニティの人々の心の傷を感じ、そこで私たちが何ができるのかということを考えさせられました。

最後に、学生YMCA夏期ゼミナールでは、「ステレオタイプ」ということをディスカッションや講演を通して学びを深めていきました。また、那

須YMCAのリーダーたちがあまり関わる機会がない、学生YMCAのユースたちとの交流もすることができました。

今回のリーダー報告は、それぞれのプログラムで体験したことや学んだことを熱く語り、リーダーたちにとってYMCAユースボランティアリーダーとしての再確認の会となったのではないかと思います。この度はこのような報告の機会を頂きどうもありがとうございました。

3月役員会報告

日 時：3月4日（金）18：30～

場 所：ココス西那須野乃木店

出席者：田村会長、河野副会長、村田副会長、荒井書記、田村メネット

協議事項

1. 3月例会の件

3月25日（金）午後6時～、西那須野教会。全国YMCAで行っている研修活動に参加したユースリーダーの報告会を行う。

食事は、カレー。ユースリーダーの参加を促す。

2. 4月役員会について

4月6日（水）午後12時30分～、ココス西那須野乃木店。会計報告を聞く。

3. 4月例会（植樹例会）の件

4月29日（金）午前10時赤松林駐車場集合。植樹例会。塩那森林管理署に申請を提出。担当は田村会長、村田副会長で行う。

4. ブリテンの内容について

西那須野幼稚園、アジア学院で掲載をする。巻頭言は、鈴木メン。

5. シイタケ昆布の販売の会計報告

2回の販売において、21,101円の益金があり、特別会計に繰り入れ。

6. リーダー送別会の件

3月5日（土）午後6時30分より那須YMCAにて開催。卒業リーダーに対して、ワイズメンズクラブより記念品（名刺入れ又はカード入れ）を送る。卒業リーダーは男子4名。女子3名。

7. その他

・第19回東日本区大会、6月4日（土）～5日（日）長野市において開催。

・メンバーの会費の納入状況について話し合った。

旧西那須野（那須西原）の緑と水（37回）

田村修也

一方、那須東原（蛇尾川から那珂川の間・東那須野・黒磯地域）においては、明治14年（1886）5月、山口県出身で当時ドイツ公使であった青木周蔵（後の外務大臣・子爵）が、那須東原の官有原野582町歩の貸下げを受けました。明治19年には近くの東肇耕社683町歩を買い取り、次いで明治20年、隣接する那須東原開墾社と土地を交換しながら、1545町歩にまで拡大し、更には、塩野崎、鹿野崎等の貸下げ地を手に入れて、大正14年には1576町歩にまでになりました。明治20年には管理人を派遣して、事務所の建設や事業計画作成等を行うとともに、移住民の導入を図りました。さらに明治21年には、農場のほぼ中央部にドイツ風の別荘を建設しました。青木周蔵はドイツに長く滞在している間に、ドイツ貴族の経営する林間農業（林業を主として、労働力確保のため一部を農耕地とする）に強い関心を持ち、那須野ヶ原でこれを実践しました。そのために森林の育成に力を注ぎ、移住民は40数戸におさえました。森林は赤松と雑木の混交林とし、赤松は木材として、雑木は薪や木炭として販売して収益をあげて行きました。大正3年（1914）の調査記録によりますと、樹木数は173万本余、このうち100万本以上が赤松でした。私が昭和34年に宇都宮大学林学科で学んでいる頃は、まだ青木農場の赤松の美林は残っていました。実に壮大な景観でした。その10数年後には、世代が変わったのでしょうか、壮大な赤松の美林は伐採し尽され、その林地は掘り起こされて、砂利採取地となり、その埋め戻された跡地には、痩せ地にも比較的強いヒノキが植栽されて、現在は牧場とヒノキの平地林となっています。大正14年の農場の状況は、山林が1052町歩、移住民が44戸、249名、水田が9町4反歩、畑が65町歩、牧場が444町歩となっています。品川開墾が水田を主としたのとは対照的な開拓地でした。青木周蔵は、ドイツ公使時代にドイツ貴族の男爵令嬢と結婚しました。その別邸は、那須野ヶ原の明治期の別荘としては最も古く、明治21年（1888）に松ヶ崎萬長の設計で、軸組や小屋組にヨーロッパの木構造の架構法を採用して、中央が2階建て、左右に平屋部分が伸び、バルコニーやベランダを張り出しています。外壁は白い鱗状のシングル壁で、わが国では非常に珍しい貴重

な建物となっています。現在のものは明治42年に増改築されたものですが、10数年前に栃木県が取得して、解体調査し記録して、復元したものです。維持管理のために入場料を取っていますが、自由に内部を見学することが出来るようになっていました。黒磯駅から板室街道を直進して、那須疏水本幹を越えると、右側にヒノキ林が続き、道の駅に隣接していて、板室街道からも洋館のその美しい姿を垣間見ることが出来ます。那須、塩原においでの際は是非お立ち寄りになって、往時の貴族の姿に思いを馳せて見て下さい。那須育児暁星園の本郷定次郎のところでも触れましたが、青木周蔵子爵は築地三一教会の教会員でした。

この他、黒磯駅付近に明治16年(1883)6月、旧島津藩主毛利元敏が906町歩の原野の貸下げを受けて開墾事業を起し、豊浦農場または毛利農場と呼ばれました。その別邸は戦後スエデンホーリネス宣教団の宣教師館に使われていたこともあります。子どもの頃、汽車で黒磯に行く車窓から立派な洋館が見えました。また毛利農場の南方の鍋掛原に、明治17年(1884)4月、旧佐賀藩主鍋島直大が、石丸安世、深川亮蔵他が起こした487町歩の開墾事業を買収して鍋島開墾を経営しました。今も東洋一と言われる黒羽刑務所の北西に隣接するように鍋掛牧場があり、競走馬を育成しています。旧奥州街道と黒羽を結ぶ旧道から牧場事務所への進入路は車1台がやっと通れるほどの道幅ですが、両側は真っ直ぐに天に向かって伸びているスギとヒノキ並木になっていて、ゲートからは洋風の事務所が見えて、往時をしるべが出来ます。

(以下次号に続く)

西那須野幼稚園だより

学校法人 西那須野学園 西那須野幼稚園
園長 福本光夫

「ナチスが共産主義者を攻撃したとき、自分はすこし不安であったが、とにかく自分は共産主義者でなかった。だからなにも行動にでなかった。次にナチスは社会主義者を攻撃した。自分はさらに不安を感じたが、社会主義者でなかったから何も行動にでなかった。それからナチスは学校、新聞、ユダヤ人等をどんどん攻撃し、自分はそのたびにいつも不安をましたが、それでもなお行動にでることはなかった。それからナチスは教会を攻撃した。自分は牧師であった。だからたって行動

にでたが、そのときはすでにおそかった(*1)」

前文は、ドイツのルター派牧師であり告白教会の指導者マルティン・ニーメラーの言葉に由来する詩です。敗戦70周年を迎えた昨年の夏、新聞記事やテレビは番組において多くの戦争や平和についての特集が組まれました。ご覧になった方も多いと思います。保護者の皆さんはもちろんですが、私も戦争を知らない世代です。以前読んだ新聞記事に沖縄の善隣幼稚園の園長國吉牧師が、「戦争知らない子ども達」から「戦争をしない子ども達」ということを述べておりました。4人に1人の県民が戦争によって命を失った沖縄には、命どう宝(ぬちどうたから)という言葉があります。沖縄語で「命こそ宝」という意味の言葉です。

私は、大人は子どもに「平和」を残す使命があると思います。学期末の「しらゆり」にも書きましたが、聖書の「平和(シャローム)」は、単に戦争が無い平和な状態ではなく、愛と正義に裏打ちされた、現実に生きている人たちが真に幸福な状態です。つまり、貧困、差別、暴力等もないのです。幼稚園は平和を教える学校です。これからも世界の1人1人の命が大切されることを願って、歩みます。

註*1「現代政治の思想と行動(丸山真男, 未来社)」

学校法人 アジア学院だより

学校法人 アジア学院 校長 荒川 朋子
新学期 ~ 新しいコミュニティー

今年も新しい研修年度の学生たちが世界中から集まる季節の到来となった。2016年度の学生は15ヶ国から28名。昨年は男女比が始めて1:1になったが、今年は残念ながらそうならず、女性が3分の1になってしまった。またアフリカからの学生が多く、こちらは半数を占める。どんなコミュニティーになるのか楽しみである。

全く違う世界からやってきた学生たちは、初めは色々な表情をしている。無事についた安堵とこれから始まる研修への期待に満ちた明るい表情と共に、知らないことだらけの生活に不安を覚えておどおどしている様子も見られる。目がどこを向いているのか、何だか焦点が合っていないような感じでもある。しかしこれが時間が経つにつれ、目の焦点が合ってくる。自分の進むべき方向がはっきりとしてきて、自信に満ちてくる。今の不安そうな目を見ると、9ヶ月後の卒業時に、学生全員がそれぞれの瞳の中に希望の光をたくさん携え

て帰っていくことができるようにと願わずにはいられない。

ところで、アジア学院は多国籍、多文化共生のコミュニティであるが、やはり日本にある以上は日本の文化にある程度(?) 馴染んでもらわねばならない。また必ずしも日本的なものでなくても、アジア学院の数々の生活のルールがあるので、それに慣れてもらうまでは、まるで幼稚園生にひとつひとつを教えるような忍耐のいる日々が続く。しかしそれは学生にとっても大変な経験であり、互いにそれを乗り越え、新しいものを受け入れていかなければ、研修を始めることさえできない。例えば屋内に入る度に靴を脱いで、それを揃えて、スリッパを履いて、また外に出る時には靴に履き替えてということをして1日に何度も繰り返さなければならぬとか、時間はきっちり守らなければならぬとか(10時に始まると言ったら、本当に10時に始まる)、朝は寒さに耐えながらもラジオ体操なるものをして、自分が食べる前に自給のための作業(掃除、農作業、給食)をしなければいけないとか、男女別け隔てなく様々な作業が割り当てられるとか、3食お米を食べるとか、ゴミを何種類にも分類しなければならぬとか、覚えて受け入れていかなければならぬことは毎日数限りなくある。

アジア学院の名誉学院長の高見敏弘先生はかつて、「カルチャーショックの勧め」ということを言った。カルチャーショック、つまり自分の価値観が壊される経験は、一旦自分の価値観を客観的に眺め、改めてその価値を認識したり、新しい考えを受け入れる素地を作る。今まで当たり前だと思っていたことが実は当たり前ではなく、脈々と受け継がれてきた文化に根ざしているものだったり、ある大きな歴史的な事象に元づいていたり、比較的新しく外国の影響を受けたものであったり、自分の小さな民族文化だけのものであったり、実は他者に対してとても差別的なものであったり、反対に案外世界でも珍しいくらい開かれたものであったり、と様々な発見がある。驚いて、発見して、それが自分にとって、自分の属する社会にとってどんな意味を持つのか、変化が必要なのか、そうでないのか、そういった思考を日々繰り返すことで、学生たちの視野や考え方がどんどん広がっていく。9ヶ月後にはいくつかのカルチャーショックを経て新しい人間になっていくのか。どうか28名の学生の9ヶ月間の学びをお祈りに覚えてください。

今年の入学式は4月16日(土)午後1時半からアジア学院のコイノニアで執り行います。色とりどりの民族衣装をまとった新入生の新しい一歩をご一緒に祝っていただけましたら幸いです。

今後の予定

・4月役員会

日時：4月6日(水)午後12時30分～
場所：ココス西那須野乃木店
内容：4月例会、5月予定の確認、ブリテンの発行等。

・4月例会(CS活動・植樹例会)

日時：4月29日(金・祝)午前10時～
場所：那須街道赤松林駐車場
内容：松くい虫で枯れていく赤松林の復活
赤松苗木の植え付けと保育活動
昼食・赤松美林周辺の散策と歩道清掃、
おやつとソング

・北東部評議会

日時：4月23日(土)午後1時～
場所：いわて県民情報交流センター「aiina アイーナ」6階・団体活動室③

・アジア学院入学式

日時：4月16日(土)午後1時30分～

・5月役員会

日時：5月6日(金)午後6時30分～
場所：ココス西那須野乃木店
内容：5月例会、6月予定の確認、ブリテンの発行等。

・5月例会(とちぎYMCA総主事を迎えて)

日時：5月27日(金)午後6時～
場所：西那須野教会

・石巻広域ワイズメンズクラブチャーターナイト

日時：5月28日(土)午後1時～(予定)
場所：石巻グランドホテル

・東京目黒クラブの予定

4月例会：4月13日(水)午後1時30分～
5月例会：5月11日(水)午後1時30分～
6月例会：6月8日(水)午後1時30分～

YMCA 報告

【那須YMCA卒業リーダーを祝う会を開催しました！】

那須YMCAでは、3月5日（土）に那須YMCA事務所にて開催しました。那須YMCAには国際医療福祉大学の大学生を中心として、子どもたちとのプログラムなどを支えてくださっており、YMCAでは欠かせないユースボランティアリーダーが沢山います。毎年3月には大学を卒業するリーダーがいます。そこで、いままでYMCAの『力』となってくださった感謝を込めて、祝う会を開催いたしました。また、那須ワイズメンズクラブより卒業記念品（名刺入れ、カード入れ）を村田副会長より卒業リーダーに手渡されました。そして、YMCAからは、日本YMCA同盟ユース委員会より届きました、特製クリアファイルを卒業リーダー、後輩リーダー全員にプレゼントいたしました。第2部は、後輩リーダーが主催する食事会です。後輩リーダーが用意した食事を頂きながら、様々なゲームやサプライズがあり、卒業リーダーにとって、後輩リーダーにとってとても記憶に残る、素敵な時間となりました。この度は、皆様のご協力・ご理解頂きどうもありがとうございます。次年度も開催したいと思いますのでどうぞよろしく願いいたします。



【「揚がれ！希望の凧2016」那須会場 開催いたしました！】

3月6日（日）に、大田原市ふれあいの丘において「揚がれ！希望の凧2016」を開催いたしました。那須地域で開催されるのは今回で3回目となります。当日は風も丁度良く、青空に恵まれました。手作りの凧を揚げる親子や青少年、様々な形とカラフルな凧は、全国・世界とつながる大空に一人ひとりの思いと共に揚げることができました。

た。午後2時46分地震発生時刻に合わせて黙禱を行いました。『揚がれ！希望の凧』は、東日本大震災を語り継ぐ全国的なキャンペーンとして、北海道から沖縄までの約20ヶ所と、パレスチナ・ガザをはじめとする海外数ヶ所で2012年より実施されています。今年も日本各地（栃木県内は那須・宇都宮・足利の3ヶ所）で、多くの“希望の凧”が震災からの復興を願い大空に揚がりました。この「揚がれ！希望の凧」が、これからも永く続き、共に被災地に対しての思いと支援が永く続いていくことを願います。那須ワイズより、河野副会長、村田副会長、荒井担当主事、村田メネットが参加しました。

【とちぎYMCA・那須YMCAの4月の予定】

- ・4/1（金）とちぎYMCA職員就業礼拝@マイホームきよはら
- ・4/2（土）とちぎYMCA職員歓送迎会@さくらんぼ幼稚園体育館
- ・4/16（土）サタデークラブ@ふれあいの丘
- ・4/23（土）サタデークラブ@ふれあいの丘
- ・那須YMCA英語クラス：4/8（金）より新年度開始
- ・西那須野幼稚園運動あそび：4/14（木）より新年度開始予定
- ・西那須野幼稚園英語あそび：4/15（金）より新年度開始予定
- ・西那須野幼稚園サタデークラブ：4/16（土）新年度開始